

防コミの歩き方

BOSAI
KOBEMIRAI

北区内の防災福祉コミュニティについて

神戸市では阪神・淡路大震災を教訓として、平成7年度から『神戸市防災福祉コミュニティ事業』を始め、平成20年度には、神戸市内全域の191地区に防災福祉コミュニティが結成されました。

北区では、33地区に防災福祉コミュニティが結成されており、市全体の2割弱に相当します。

ここでは、平成24年4月から12月までの北区内の主な出来事を紹介します。

7月6日、東京都千代田区の都道府県会館において、ひよどり台防災福祉コミュニティが平成24年度安全功労者総務大臣表彰団体の部で表彰されました。

この賞は、「安全思想の普及と安全のための研究や教育、災害の発生の防止、被害の軽減に尽力し、貢献した方々の士気高揚を図る」という目的でおこなっているものです。



受賞代表：山本忠利さん（後列左から2人目）

7月22日、市民防災総合センターの既存訓練施設を有効に活用し、星和台鳴子防災福祉コミュニティが、防災キャンプ『家族でサマー★ナイト★』と題して今後の体験型防災訓練のモデルケースとなる訓練を神戸

市内で初めて実施しました。

参加者の「知る」「考える」「実践する」をテーマに実施しました。



暴風雨体験



激流体験

10月21日、神戸市中央区の神戸芸術センター芸術劇場において、兵庫県の平成24年度優良自主防災組織知事表彰団体の部で道場町防災福祉コミュニティが表彰されました。

この賞は、「自主的な防災訓練や広報活動等を積極的に実施するなど地域の防災活動の実践に顕著な功績が認められた団体に与えられるもの」です。



受賞代表：大北慶隆さん（会長）
鍛冶亜希子さん（会計）

今後も北区内の防コミとともに、減災を目指します。

（北消防署 藤岡昭浩）